

当社社員（駅係員）の新型コロナウイルス感染について

1. 概況

京浜急行電鉄株式会社（本社：横浜市西区，社長：原田 一之，以下 京急電鉄）では，横浜駅（横浜市西区）の駅係員が新型コロナウイルスに感染したことが確認されました。

当該社員は9月18日（金）に37.0℃の微熱があり，翌日下がったものの，その後23日（水）の夜に嗅覚の異常を感じたので，24日（木）に帰国者・接触者相談センターに相談したところ，医療機関の受診をすすめられ25日（金）に医療機関を受診，その場でPCR検査を受け，27日（日）に陽性と判明したものです。

2. 感染した社員の概要と業務内容

当該社員：40代 男性（神奈川県在住）

業務内容：横浜駅 有人改札窓口受付などの業務を担当

（勤務中はマスクを常に着用のほか，窓口には飛沫対策シールドを設置しておりました。また，接客業務は短時間であったため，お客さまとの接触は限定的と考えております。）

現在の体調：医療機関の指導に則り，療養を継続しております。

渡航歴：なし

感染経路：不明

濃厚接触者：管轄保健所よりお客さま，および職場には濃厚接触者がいないことをご判断いただいております。

3. 対策

- ・横浜駅におきましては，有人改札窓口をはじめとする駅事務室内や券売機などの機器類，お客さまが触れる手すり，エスカレーター，エレベータのボタンなどを定期消毒するとともに，9月27日（日）夜間に臨時で消毒を実施いたしました。

4. その他

- ・本件に伴う鉄道運行への影響などはございません。
- ・本件については，今後も管轄保健所の指導に基づき，必要な対応を行ってまいります。

これまで，マスク着用や手洗い・うがいなどの感染症対策の徹底や消毒液の設置などを実施してきましたが，今回の事象を受けて，さらなる徹底を図ってまいります。

お客さまにはご心配をおかけいたしますが，京急電鉄では，引き続きお客さまや従業員の安全を最優先に，感染拡大防止に努め，政府の方針や行動計画に基づき対応してまいりますので，ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

以上